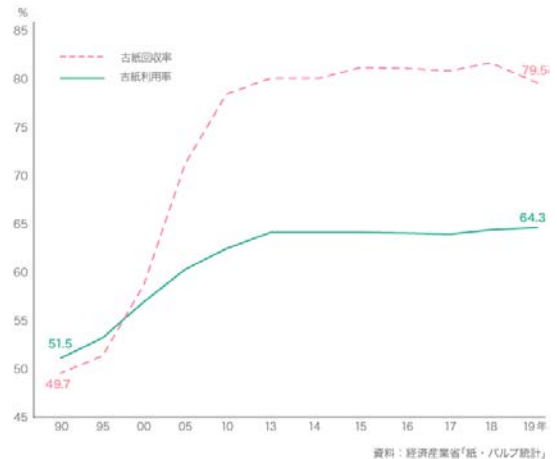


カレンダーで作る箱

紙や綿など、自然素材を見直そう

紙などの自然素材は、再生可能で自然に還る環境の優等生

- ・紙も燃やしてしまえばCO2になります※。
※但し、紙を燃やして出るCO2は、木が育つ過程で吸着したCO2なので、環境負荷は±ゼロという考え方もあります。
- ・グラフは、日本の古紙の利用率と回収率です。紙は、リサイクルの優等生です。
- ・プラごみ問題は、環境汚染と地球温暖化の両面で、待ったなしの深刻な問題です。



紙は、今、世界中で見直されています

- ・製造業や流通業でも、脱プラと紙を見直す動きが加速しています。
- ・環境先進国の北欧諸国では、日本より速く脱プラと紙を見直す動きが進行しています。



日本でも多くの流通業が紙を見直している



紙を多用している北欧のスーパーマーケット

カレンダーで作る箱

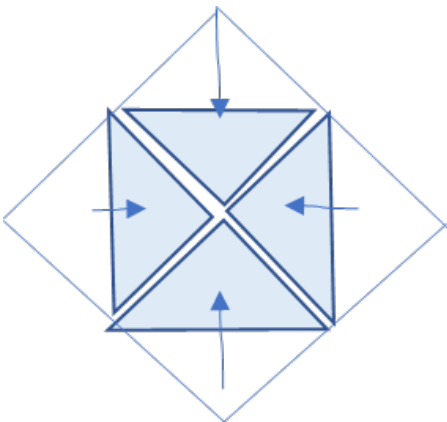


不用になったカレンダーでお気に入りの箱を作りましょう！！

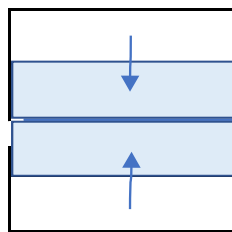
- 今回は36cm巾のカレンダーを使用しました。
- お気に入りのカレンダーや包装紙の**図柄をみて正方形に切ります**。
→ 今回の箱の仕上がりは巾12×深さ6cm程（紙の厚さなどで若干変化）
- ポイント：折り目はしっかりつける

折り方

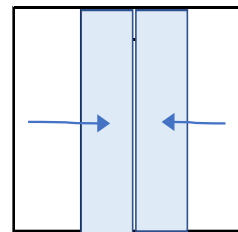
① 正方形に切った用紙の真中に
印をし角から中心に折る



② 横に中央へ折る
開いて⇒



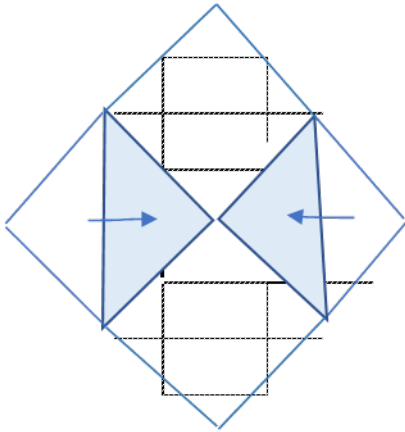
③ 縦に中央へ折る



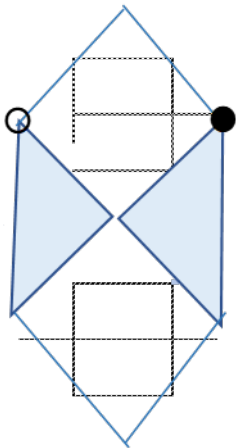
カレンダーで作る箱

折り方

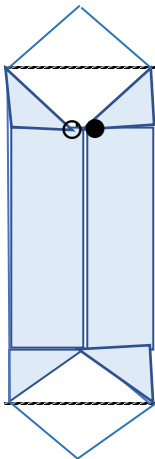
- 一旦開いて仕上げに入ります。



- ④ 付けた折り目に沿って図の様に内側へ折ります。



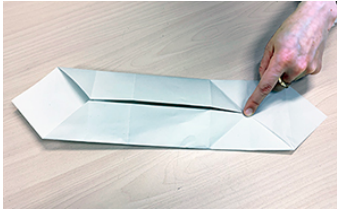
- ⑤ さらに○と●がぴったり向かい合うように、付けた折り目に沿って内側へ折ります。



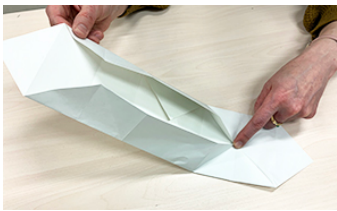
- ⑥ 折りあがった図

カレンダーで作る箱

折り方

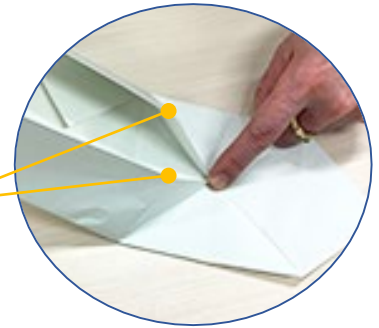


⑦ この部分を指で押さえます。



⑧ 反対側をゆっくり持ち上げます。

⑨ この時、この二つの折れ目の角が外側へ広がるように持ち上げます。



⑩ すると、図の様に箱の面が一つ出来上がります。



⑪ 飛び出ている部分を箱の内側へ折り込みます。



⑫ 反対側も同じ手順で繰り返すと箱が完成します。

